

令和 1（2019）年さけます来遊状況（第 2 報：9/30 現在）

1 カラフトマス来遊状況

国立研究開発法人水産研究・教育機構
北海道区水産研究所 さけます生産技術部

- 来遊数は 109 万尾 [前年同期比：16%、平年*1 同期比：14%]
- 9 月末までの来遊数は、平成以降（1989 年以降）で最も少ない
- 全道で 1 億 1,910 万粒の種卵を確保

*1：平年とは、平成元（1989）～平成 30（2018）年の平均値

（北海道）

9 月 30 日現在、北海道のカラフトマス来遊数は 109 万尾 [前年同期比：16%、平年同期比：14%] となっています。

カラフトマスの来遊数は隔年変動することが多く、北海道では平成 16（2004）年以降、奇数年が豊漁年、偶数年が不漁年となっていました。平成 19（2007）年以降は、奇数年の漁獲は年々減少する一方で、平成 28（2016）年および平成 30（2018）年の漁獲は近年の奇数年（2011 年以降）の漁獲を上回っています。

本年 9 月末時点の来遊数は、最近の奇数年である平成 29（2017）年を下回り、平成以降（1989 年以降）で最も少なくなっています（表 1 および図 1）。

表 1. カラフトマス来遊数（北海道）

単位：万尾

来遊年	9/30現在	最終	来遊年	9/30現在	最終
2006(H18)	554	559	2007(H19)	1488	1491
2008(H20)	703	704	2009(H21)	1107	1111
2010(H22)	729	731	2011(H23)	551	553
2012(H24)	221	221	2013(H25)	321	325
2014(H26)	157	158	2015(H27)	210	210
2016(H28)	887	890	2017(H29)	123	123
2018(H30)	681	683	2019(R1)	109	-
			平年	798	804

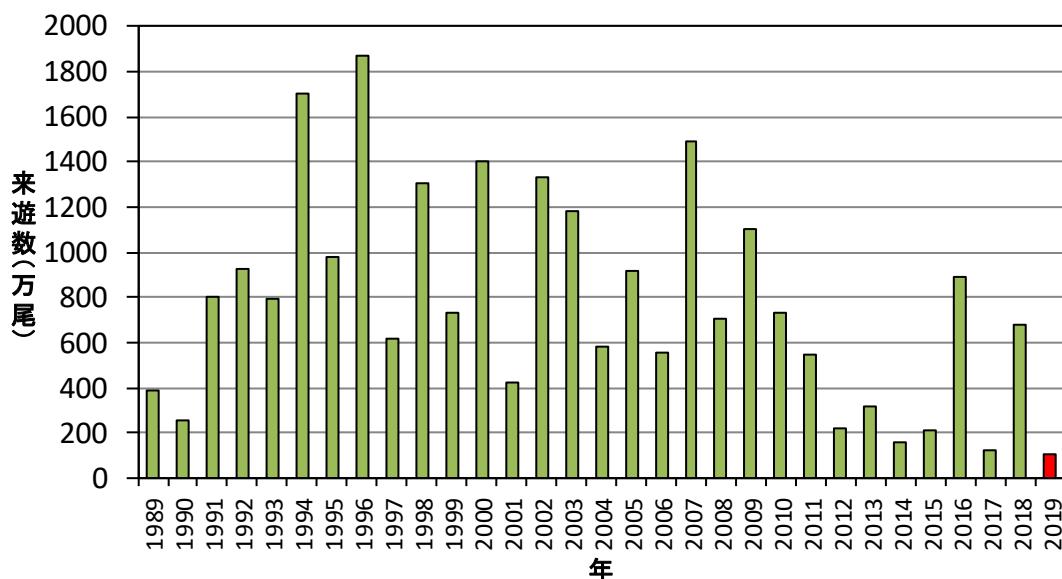


図 1. 7 月 1 日～9 月 30 日までのカラフトマス来遊数（北海道累計値）。2019 年は速報値。

地域別にみると、日本海側（オホーツク海区および日本海区）では104万尾〔前年同期比：16%、平年同期比15%〕、太平洋側（根室～えりも以西海区）では5万尾〔前年同期比：13%、平年同期比4%〕と、両地域ともに昨年を大きく下回っています。

カラフトマスの河川捕獲数は、9月末時点で22万尾〔前年同期比：24%、平年同期比：28%〕と前年及び平年を大きく下回っており、平成以降（1989年以降）で2番目に少なくなっています（表2）。

採卵数については9月末時点で1億1,910万粒と、前年同期の85%となっており、本年の採卵計画数である1億7,310万粒の68.8%が確保されています。

表2. カラフトマス河川捕獲数(北海道) 単位:万尾

来遊年	9/30現在	最終	来遊年	9/30現在	最終
2006(H18)	88	94	2007(H19)	141	144
2008(H20)	91	92	2009(H21)	128	131
2010(H22)	85	87	2011(H23)	58	59
2012(H24)	25	26	2013(H25)	44	48
2014(H26)	26	26	2015(H27)	23	24
2016(H28)	73	76	2017(H29)	18	18
2018(H30)	91	92	2019(R1)	22	-
			平年	79	85